

○信越総合通信局長表彰

別紙

「電波の日」 (4 団体)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
新潟県立海洋高等学校 (校長 富田 紀男 (とみた のりお))	携帯電話事業者との間で、災害時において実習船「海洋丸」に「船上基地局」を設置し運航等を行う協定を締結することにより、災害時における携帯電話エリアの迅速な復旧体制の構築に多大な貢献をされました。
一般社団法人信越自動車無線協会 (会長 松葉 和彦 (まつば かずひこ))	多年にわたりタクシー無線の普及や周波数の有効利用に資するデジタル化の推進を行うとともに、会員に対して無線局管理や電波法令の遵守・徹底を推進するなど、電波の利用促進や電波利用環境の健全な発展に多大な貢献をされました。
学校法人長聖佐久長聖中学校 (校長 依田 彰 (よだ あきら))	多年にわたり「受信環境クリーン図案コンクール」に作品を応募し、5年連続で入賞するなど優秀な作品を多数輩出し、誰もがわかりやすい表現で電波障害防止を呼びかけ、その普及に多大な貢献をされました。
大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台野辺山宇宙電波観測所 (所長 西村 淳 (にしむら あつし))	世界最先端の電波望遠鏡施設の運用を通じて電波天文学の発展に貢献するとともに、長年にわたる啓発活動や映像作品への協力を通じて、地域観光の活性化と若年層への電波技術の普及に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」 (3 団体 1 個人)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
新潟県 ICT 推進協議会 (会長 中野敬介 (なかの けいすけ))	生成 AI やデジタルリテラシーに関するセミナーの開催や、デジタル人材の育成と人的交流を推進し、「にいがたデジコングランプリ」への後援を通じて若年層のデジタル人材育成を支援するとともに、ICT を活用した地域課題解決・地域情報化の推進に多大な貢献をされました。
小柳建設株式会社 (代表取締役社長 小柳 卓蔵 (おやなぎ たくぞう))	自社開発のホロストラクション等を活用した遠隔打合せを通じて移動時間の削減を実現し、従業員が「いつでも、どこでも」働ける環境を構築し、事業継続性を確保するとともに、一人あたりの平均残業時間の削減に顕著な成果を上げ、働き方改革の推進に多大な貢献をされました。
学校法人エスイー学園エプソン情報科学専門学校 (学校長 小林 敏一 (こばやし としかず))	工事担任者試験に係る認定学校等として長年にわたり資格者教育に取り組み、過去6年間において「第1級アナログ通信」「第1級デジタル通信」「総合通信」の合格者合計数が全国1位を達成しており、高度な専門人材の育成を通じ、業界発展と社会の信頼性向上に多大な貢献をされました。

小澤光興（おざわ みつおき） （合同会社 ozatolink 代表社員）	自治体職員として情報政策・ICT分野を牽引し、退職後は信州大学特任准教授として地域DXに携わるとともに、自治体向けDX研修講師や長野県市町村DX推進アドバイザーとして活動し、地域のデジタル人材育成と情報化推進に多大な貢献をされました。
---	---

○信越電波協力会長表彰（1個人）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
佐藤 敬（さとう たかし） （ABN サービス株式会社 事業推進本部事務局長）	永年にわたり中継局の建設・維持管理に従事し、デジタル放送移行や難視対策、中継局の共同利用検討、さらに災害時の中継局の放送維持に尽力されるなど、放送分野における電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長感謝状（4団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
第九管区海上保安本部新潟海上保安部佐渡海上保安署 （署長 渋谷 卓矢（しぶや たくや））	電波利用環境の保護に向けた不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
長野県警察本部生活安全部生活安全捜査課 （課長 小林 繁生（こばやし しげお））	電波利用環境の保護に向けた不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
長野県 千曲警察署 （署長 武田 幸信（たけだ ゆきのぶ））	電波利用環境の保護に向けた不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
長野県工業技術総合センター 精密・電子技術部門 （部門長 軽部 俊幸（かるべ としゆき））	無線通信機器製造事業者等を対象に企画、開催した無線通信技術セミナーの共催者として、電波暗室・測定器・会場を無償提供するとともに、ホームページやメーリングリストを通じた広報活動にも協力し、電波利用の普及・促進に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長賞（1団体）

「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門）

（敬称略）

受賞者名	受賞の概要
須坂市立井上小学校 （校長 関谷 敏（せきや さとし））	2026年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、熱心に取り組まれ優秀な作品を創作されました。受賞作品：「お友だち 悲しむかもよ その投稿」は、今年度1年間の啓発活動に活用されます。

<参考>

○信越電波協力会からの情報通信機器の寄贈（1団体）

信越電波協力会では、情報通信の普及発展を図る事業の一環として「電波の日・情報通信月間」を記念して、信越管内の福祉団体に情報通信機器を毎年度、寄贈しています。

（敬称略）

受贈団体の名称	寄贈機器
一般社団法人全国手話通訳問題研究会 新潟支部 （支部長 早川 かつみ（はやかわ かつみ））	情報通信機器一式